

- 自ら考え、表現できる人（創造）
- 仲間とともに高め合える人（共生）
- 心身ともにたくましい人（健康）

個人戦4種目 いざ、県大会へ ソフトテニス 男女各1ペア、柔道 男女各1名



6月14日（火）、15日（水）の2日間、郡山市の庭球場、体育館を会場に中体連県中地区総合体育大会が開催され、本紙第6号に紹介した3競技4チーム・個人戦4競技に延べ20名の選手が参加しました。

ソフトテニスは、団体戦は男子3回戦、女子2回戦で惜しくも敗れてしまいましたが、個人戦では、

男子第3位 黒津悠斗（ゆうと）③・熊谷一億（かずやす）③ペア

女子第2位 名古谷愛美（まなみ）③・伊丹美杜（みもり）②ペア

の成績を収め、県大会の出場権を手にしました。どちらのペアも岩瀬地区大会を上回る好成績で、両大会の間の2週間を有意義に過ごしたからこそその結果です。特に、男子はチーム全体の雰囲気非常によくなっていました。

2日目、バドミントン会場から柔道会場に移動すると、個人戦ベスト8以上の試合がすでに進んでいて、私を見つけた二人の男子選手が私のところにあいさつに来てくれました。その表情を見れば尋（たず）ねるまでもなかったのですが、「どうした？」と尋ねれば、「負けました。」と目に光るものを浮かべて顔を紅潮させています。これには堪（たま）りません。思わず涙腺（るいせん）が緩みます。

それでも、

男子60kg級 第3位 武田 匠（たくみ）③

女子軽量級 第2位 阿部 萌花（もか）③

の成績で、二人が県大会に出場します。

二人とも敗戦は大きなショックだったようで、武田くんは「県大会までに課題を修正します。」と、なんとか気持ちを持ち直していましたが、阿部さんは試合後もずっと顔をあげることができず、悔し涙に暮れていました。私は、そっと会場を後にしました。

先にお知らせした陸上競技 男子2,3年1500m 松井愛希（まなき）くんの県大会出場を含めると、今年度は5つの競技で県大会出場を果たしました。団体戦での出場がなかったのは残念ですが、日頃から校内のチームメイトとともに切磋琢磨（せつさたくま）し、「地力（じりき）」をつけないと、なかなか県大会に出られるものではありません。そういう意味では、真に「須賀川三中の代表」として県大会では、思う存分戦ってきてほしいと思います。また、大会を見ていると、最近は他校の選手ともかなり親交を深めているようで、自校の生徒であるなしに関わらず、励まし合い、慰（なぐさ）め合っている姿をよく見かけます。岩瀬地区、県中地区の代表としての自覚をもって頑張ってくれるものと期待しています。



見違えるようになった環境 親子奉仕作業に感謝

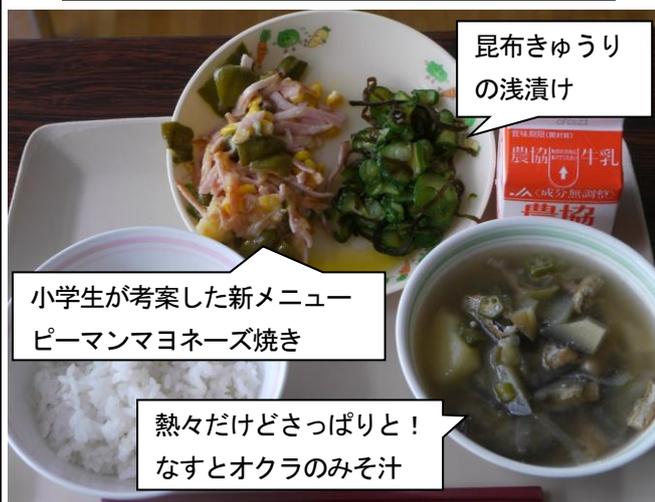


6月11日(土)のPTA親子奉仕作業には、たくさんの保護者の皆さんにご参加いただき、ありがとうございました。生徒

も、保護者の皆さんの熱心な姿に触発(しよくはつ)されたのか、昨年よりも集中して取り組んでいたように思います。

お蔭さまで見違えるようにきれいになり、植栽(しよくさい)の周りなどとてもさわやかに目に映ります。

「食育の日」の新メニュー



昆布きゅうりの浅漬け

小学生が考案した新メニュー
ピーマンマヨネーズ焼き

熱々だけどさっぱりと！
なすとオクラのみそ汁

正しい姿勢の効用

授業の様子を見に教室を訪問したとき、「もう少しノートから目を離せない？」「もっと背筋を伸ばそう」と意識して声をかけるようにしています。そのころは？

本紙第5号の「『文武両道』を目指してこそ、能力は発揮される」で紹介した林 成之(なりゆき)氏は、「文武両道の子どもに育てるには、正しい姿勢を身に付けることが何より大切だ。」とっています。正しい姿勢は、脳の空間認知力の発達に影響するからだとして、その発達は、次の能力の発達にも影響するのだとっています。

- 時間や空間の長さをイメージする能力
- ものを見て絵を描く能力
- 本を読んでイメージを膨(ふく)らませる能力
- バランスをとる能力
- 自分とボールとの位置関係を把握する能力
- 数学の諸能力、などなど

また、心と体は互いに影響し合っています。極度に緊張すると笑顔がなくなり、声を出して笑うと緊張がほぐれるといったように。正しい姿勢は生き生きと、自信を感じさせます。自信を高めて生き生きと取り組んだ方が、勉強でも運動でもパフォーマンスを高めることでしょう。

食育の日は、6月19日(日)でした。左の写真は、6月17日(金)に提供した「食育の日」メニューです。

家庭教育文献紹介(第1ステージ)

「親でなければできない教育」

本年度の須賀川市PTA連合総会の席上で、来賓の方が「『親学』とでもいべきものを積極的に学ぶ必要がある。」とおっしゃっていました。私も、この20年来、一人の親として、また教師としてそのように心がけ、積極的に機会を求めて学んできました。そこで、次号から「親でなければできない教育」(品川孝子著)の内容を、以下のとおり9回にわたって紹介したいと思います。



- | | | |
|---------------|-------------|-----------------|
| その1 感情教育 | その4 個性教育 | その7 価値観の教育 |
| その2 労働の教育 | その5 生活技術の教育 | その8 社会の中での教育 |
| その3 金銭についての教育 | その6 性教育 | その9 他人のために役立つ教育 |

この著書は、実は30年前のもので、現代の子どもを取り巻く環境にそぐわない部分もあるかと思いますが、そこは私見で補いながら、次回から要点のみを簡潔に紹介してまいります。参考になるところがあれば、幸いに存じます。